



【五所川原―八学光星】1回裏、八学光星1死三塁、東が中前に安打を放ち、2―0とリードを広げる―八戸市長根公園

【評】八学光星は初回二塁の適時打で2点を追二、三塁の好機に、暴投加し、主導権を握った。と東の中前適時打で2点六回にも敵失などにつけを先制。四回には福山と二込み3点を挙げ突き放し

▽3回戦(八戸市長根公園)	五所川原	0000	2000	0000
	八学光星	2000	2030	070
				(七回コールド)

光星着々加点 五所川原・対馬佑乱れる

- ▽二塁打 東、武岡、長南(八)
- ▽暴投 対馬佑4(五)▽ボーク 対馬佑(五)▽捕逸 秋山(八)
- (五) 対馬佑―佐藤滉
- (八) 福山、矢野―秋山

た。先発の福山は七回途中まで無失点に抑えた。五所川原は三、四回、四球や捕逸などで好機を広げたものの、無得点に終わった。先発対馬佑は暴投やボークが計5つを数え、傷口を広げたのが痛かった。

5度の好機実らず

○：4年ぶりに2回戦を突破した五所川原だったが、強豪八学光星の前に本塁が遠かった。得点圏に走者を5度進めながら、福山の決め球を打ちあぐね、決定打が出なかった。主将の佐藤滉は「勝負どころでの差が出てしまった」、瓜田監督は「スクイズなどで1点が取れていたら…」と悔やんだ。この日105球を投げた2年の主戦対馬佑は「甘い球を打ち損じてくれなかった」と力の差を痛感。背番号1は涙を流し「来年こそ絶対甲子園に行きたい」と前を向いた。

第100回 全国高校野球 青森大会

第100回全国高校野球選手権青森大会は第6日の15日、4球場で3回戦8試合を行い、8強が決まった。大間は東奥学園に2―1で競り勝ち、夏の大会初の8強入り。弘前工は明の星に苦戦したが、延長十回で2―1のサヨナラ勝ちを収めた。弘前東は接戦の末、東奥義塾に11―7で勝利。八工大は4―0で三本木を制した。八学光星は五所川原に、青森は八戸高専に、青森山田は弘前南に、聖愛は青森商にそれぞれコールド勝ちした。16日は移動日で試合はなし。第7日の17日は弘前市のはるか夢球場で八学光星―大間(午前9時半、聖愛―弘前東(午後0時半)の連々決勝2試合を行う。(本紙取材班)

あすから準々

光	星
×	
大	間